

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科
科目名称 [英語名称]	知的障害児の心理と発達支援 [Psychology and Developmental Support of Children with Intellectual]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	750137	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	3年次
教員氏名	本田 和也			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP2(2)		
授業概要	<p>本授業の目的は、特別支援教育の中でも、特に知的障害教育に携わる教員に求められる専門性を養うことであり、特に知的障害児の心理に特化し理解を深めることである。</p> <p>特別支援学校(知的障害)での指導経験を活かし、本授業では、これまでの関連した授業を通して学んだ知的障害の定義等を整理した上で、心理面での特性等の理解を深める。</p> <p>また、知的障害児の言語発達や三項関係形成、心の理論獲得の段階を学ぶとともに、具体的な事例等を通して、より有効的な指導のあり方についての理解を図る。</p>						
関連する科目	履修前に「知的障害児の心理・生理・病理」を履修しておくことが望ましい。						
授業の進め方と方法	基本的に講義を中心とし、パワーポイントや動画など多様な手段を用いて展開する。また、学びをさらに深めるために、グループによるディスカッションやプレゼンテーションを行う経験を通して、深化を図る。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 知的障害とは 知的障害の理解と分類 自立活動を踏まえた知的障害児の特性とその支援 知的障害の捉え方と心理・生理・病的側面を確認した上で、自立活動を踏まえた支援について学ぶ。 認知発達について—知的障害児の理解の難しさ— 初期感覚の世界の理解 知覚の世界の発達理解と支援 象徴化の世界の発達理解と支援 概念化の世界の発達理解と支援 知的障害児の認知について、認知発達理論を通して学ぶ。 コミュニケーションの基礎となる認知—注意・期待— コミュニケーション手段の獲得—要求の表出— コミュニケーションを促す指導—インリアル・アプローチ— 認知発達を踏まえた知的障害児のコミュニケーションの発達とその支援のあり方について学ぶ。 二項関係から三項関係に導く支援 三項関係形成段階での課題と支援 他者の心の理解の発達—心の理論— 知的障害児の言語発達とその支援のあり方について学ぶ。 自立活動を踏まえた知的障害児の指導の実際 実際の指導の場における自立活動の内容を踏まえた指導法について学ぶ。 						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 知的障害の心理的側面に関する特徴を説明することができる。 知的障害児の状態や発達、特性を理解し、支援を考えることができる。 自立活動の内容を踏まえ、個々の知的障害児の指導内容を設定することができる。 						
授業時間外の学修	<p>【予習】 授業の中で、次回の授業内容・課題などを提示するので、各自で確認したり、調べたりしておく(1時間程度)</p> <p>【復習】 テキストや配布したプリント等を基に、習得した内容を整理したり、関連する資料・図書・文献等でさらに深めたりしておく(1時間程度)</p>						
課題に対する フィードバック	毎回の授業の最後に行う「ミニ確認テスト」等は、次時の授業時間に解説を行う。	評価方法		通常の授業に臨む態度と授業の最後に行う「ミニ確認テスト」等の内容(20%)、及び最終試験(80%)で総合的に評価する。			
テキスト	文部科学省『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編(幼稚園・小学部・中学部)』開隆堂(159円＋税)						
参考書	梅谷忠勇著(2004)『図解知的障害児の認知と学習—特性理解と援助—』田研出版(2,000円＋税) 宇佐川浩著(2007)『障害児の発達臨床 I 感覚と運動の高次化からみた子ども理解』学苑社(2,800円＋税) 竹田契一・里見恵子編(1994)『子どもとの豊かなコミュニケーションを築くインリアル・アプローチ』新日本印刷(2,300円＋税)						
備考							